

<p>第22号 2005年 2月 20日 (平成17年) 我孫子市民図書館発行 〒270-1147 我孫子市若松26-4</p>	<h1>図書館 だより</h1>	<p>市民図書館 TEL 7184-1110 湖北台分館・移動図書館 TEL 7187-3055 布佐分館 TEL 7189-1311</p>
--	----------------------	---

## —すべての市民の方に図書館サービスを—

図書館利用に障害のある方へ

図書館利用のお手伝いをします。

我孫子市民図書館では、「市民の誰もが気軽に心ゆくまで利用できる図書館」をめざして様々なサービスを行なっています。今回はその1つとして図書館利用に障害のある方へのサービスをとりあげました。皆様にサービスの内容を知っていただき、1人でも多くの方が図書館を利用していただけますよう、ご紹介します。



### サービスのご案内

#### 【はじめての方へ】

「宅配サービス」

図書館の利用券を発行いたします。来館が困難な方は、電話などでお問い合わせください。利用券をもっている方でも、ご利用の際に登録が必要になりますので、図書館にご連絡ください。

#### 【目の不自由な方へ】

##### ○対面朗読サービス

図書館資料、個人の持参した資料を市民スタッフがマンツーマンでお読みします。ご希望の方は事前にご連絡ください。市民図書館(アピスタ内)、および布佐分館で行います。

##### ○郵送貸出サービス

図書館への来館が困難な方のために、録音図書・CD・点字図書などを、郵送でお届けします。我孫子市の図書館で所蔵していない録音図書・点字図書でも、全国の図書館から取り寄せることもできます。検索のお手伝いもいたします。お気軽にご相談ください。

### 【耳の不自由な方へ】

FAXによる資料のリクエスト、問い合わせを受け付けています。FAX番号は、登録の際にお知らせいたします。

来館の際には筆談で対応します。お気軽にお申しつけください。

### 【身体の不自由な方へ】

#### ○宅配サービス

図書館への来館が困難な方のために、図書館の資料をご自宅までお届けします。検索のお手伝いもいたしますので、お気軽にご相談ください。

#### < 資料と設備など >

#### ○大活字本コーナー

市民図書館(アビスタ内)、湖北台分館、布佐分館にあります。活字の大きな本です。我孫子市全体で、約2,200冊あります。  
(貸出中や利用館で所蔵のない場合は、予約ができます。)

#### ○CD・カセットテープコーナー

市民図書館(アビスタ内)、布佐分館にあります。録音図書のほかに、音楽・落語などのCD、語学のカセットテープなどがあります。我孫子市全体で、約14,000点あります。  
(貸出中や利用館で所蔵のない場合は、予約ができます。)

#### ○点字雑誌・新聞

市民図書館(アビスタ内)には、「点字毎日」「点字ジャーナル」があります。

#### ○拡大読書機の設置

市民図書館(アビスタ内)にあります。

#### ○拡大鏡、老眼鏡の設置

市民図書館(アビスタ内)、湖北台分館、布佐分館にあります。

#### ○点字ブロックの敷設

市民図書館(アビスタ内)、布佐分館にあります。

#### ○点字案内板の設置

アビスタ内にあります。

#### ○スロープ、車椅子・障害者用トイレ、障害者用駐車場、エレベーター

市民図書館(アビスタ内)、布佐分館にあります。

**利用は無料です。**

## 図書館市民スタッフの紹介

我孫子市民図書館では、市民スタッフとともに図書館の事業を行っています。

### ① 対面朗読市民スタッフ

視覚障害者へのサービスとして対面朗読事業を行うことを主たる目的として活動しています。その他、視聴覚資料の目録作りにかセットテープへの吹き込みを行ったり、1月30日に開催されたアビスタフェアでは詩の朗読を行いました。



「対面朗読」



「読み聞かせ」

### ② 読書普及市民スタッフ

図書館の利用促進・広報活動を目的に絵本の読み聞かせなどを館外で行ったり、学校図書室との連携を図るため図書室の環境整備をしています。アビスタフェアでは、大型絵本の読み聞かせと紙芝居を行いました。

市民スタッフは、現在、各事業6名ずつの計12名で活動しています。自主的な研修を行うことにより技術の向上と自己啓発に取り組んでいます。

図書館では、これからも市民スタッフの協力により、様々な図書館サービスを展開していきたいと考えています。

< **新刊本 ご紹介** > 図書館員が読んだ本をご紹介します。

『考える技術』 大前 研一 著  
(講談社刊)

これからの時代、ビジネスマンも論理的思考がなければ生き残ることができない。思考力によって極めて大きな格差が生まれてしまう。

そのためにビジネスの思考回路を身につける論理的思考やアイデアのつくり方、先見性の磨き方まで、これからの時代を生き抜く方法を見事に提言してくれる。

中でも道路公団や郵政民営化など著者独自の分析結果や明快な理論などは興味深い。

## 「アビスタフェア」が開催されました！

平成17年1月30日(日)我孫子市生涯学習センターアビスタにおいて盛大に開催されました。図書館は第3学習室において、市民スタッフによる紙芝居—「豆っ子太郎」「こぶたのまーち」、大型絵本の読み聞かせ—「きよだいなきよだいな」「そらまめくんのベッド」、詩の朗読—高村光太郎、石垣りん他の詩—を行いました。寒い日でしたが、1日を通じて計160人(4回の総計)の方にご覧いただき、会場は熱気につつまれました。

また、第3学習室前のオープンスペースでは、図書館職員による「本の修理、本のフィルムコーティング(図書館の本と同じビニールのコーティングです)」の実演を行いました。図書館にある本の修理やコーティングだけでなく、お客様よりお預かりした愛読書の修理やフィルムコーティングも行い、喜んでいただけたと思います。

今後も、市民の方々に楽しんでいただける内容をとっています。ぜひアビスタまで足をお運びください。

### 転居・転出に伴う届出を！

転居や転出などで住所の変更が生じた場合は、図書館窓口で手続きをお願いします。

柏、沼南、印西、流山、取手以外に転出された場合や我孫子市在勤・在学の方で、転勤や卒業により該当しなくなった場合は図書館の利用ができなくなりますので、ご注意ください。

### ～ お知らせ ～

市役所に直通電話が設置されたため、湖北台分館・布佐分館からご連絡する場合の番号通知が、以下のように表示されることがあります。

ご注意ください。

- ・湖北台分館…7185-5398
- ・布佐分館 …7185-1882
- ・携帯・PHS・市外の方は、各館共  
050-5517-1111

\* 利用カードの裏面に記載されている各館の電話番号は変更ありません。

## 我孫子市民図書館 利用者懇談会の報告

平成16年11月27日(土)午前9時30分からアビスタ ミニホールにおいて、「第2回我孫子市民図書館利用者懇談会」を開催致しました。

今回は、渥美 省一センター長の講演会「生涯学習と図書館」と利用者懇談会という形で行われました。懇談会で話し合われた意見を一部ですが、ご紹介致します。

市民—土・日・祝日も夜間開館(8時まで)して欲しい。

図書館—現在、我孫子市民図書館は「来館しやすさ」「開館日の覚えやすさ」を考慮し、振替休館日なしの全祝日開館をしております。また、仕事帰りの来館者を視野に入れ、全平日(火～金)午後8時までの開館をしております。

おかげさまで、県内でもトップクラスの開館時間数になりました。更に土・日・祝日に夜間開館を行えば、日頃より図書館に来館されている利用者の方々にとって、より便利になることは間違いないことです。

しかしながら、開館している間は夜間であっても、図書館として基本的なサービスを行う責任があると考えます。図書館といたしましては、限られた人員と費用の配分を考えた場合、来館可能な方へのサービスを今以上拡大する前に、図書館に来たくても来られない方々へのサービスを優先したいと考えております。

一昨年より本格的に視覚障害者の方への郵送貸出や来館困難な方への宅配サービスのPRを行いましたところ、急激に利用が伸びております。

現時点では、この図書館の方針をどうぞご理解いただきたいと存じます。

市民—図書館内の照明が暗いところがある。

図書館—アビスタ内の図書館では、書架下段の本の背文字も見えにくならないようにと、特に書架照明を設置しております。このため、明るい部分とそうでない部分に落差が生じ、場所によっては暗く感じられることもあると認識しております。

但し、図書館の照明は、1979年のJIS照度基準に基づいて設計しており、平成16年1月9日に実施いたしました照度測定においても本基準は満たしております。今後も点検を行っていきたいと考えております。

市民—布佐分館の利用が少ないではないか。

図書館—布佐分館は平成13年度までは、市内で唯一AV資料(CD・カセット)を所蔵していたことにより全市的に利用者が来館していたと思われます。

平成14年度からはアビスタ内市民図書館でも所蔵を始め、我孫子方面の利用者は布佐分館まで足を運ばずにすむようになったこと、また新館を利用してみたいという布佐地区の利用者がいたこと等により、布佐分館の利用が減少したと推測されます。

しかし平成15年度は、再び布佐分館を利用し始めた人やアビスタの利用者が布佐分館へも来館されているようで、若干の増加となりました。

布佐分館を知ってもらい利用していただくよう、以下のような方法を実施していきます。

・近隣施設に利用案内を置く。(以下は送付施設)

布佐支所・布佐市民センター・布佐南近隣センター・新木近隣センター

・地域のミニコミ紙等に図書館利用案内の掲載を依頼

市民—アビスタ子どもの本のコーナー(のカウンター)に職員がいない。

図書館—児童専用カウンターの職員の配置は、子どもたちの図書館利用を推進していく上で重要であると考えております。現在、専任職員の常時配置は、人員が不足しており困難ですが、出来る限り職員を配置していくよう改善していきます。

市民—貸出冊数10冊は多すぎる。

図書館—現在、我孫子市民図書館では、図書の貸出冊数を以前の5冊から10冊に引き上げています。これは、1回に利用できる冊数が5冊では少なすぎるという観点からの引き上げです。逆に家族間の利用カードの貸し借りは制限し、個人利用をすすめています。また無制限にしてしまうと、自分が何を借りているのかわからなくなってしまうということと、図書館の蔵書にも限りがあるということで、上限を設けさせていただいています。

県内の県立及び市町村立図書館の図書の貸出冊数は、42館中

無制限—9館、10冊—20館、5～9冊—10館、その他—3館(千葉県図書館2004より)

以上のことにより、当面は現状の貸出冊数のままでまいりますのでご理解いただきたいと存じます。

\* 以上限られた時間ではありますが、多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。